

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
13	萩・石見空港活性化に関する請願について	萩・石見空港活性化推進協議会 会長 御神本 康一 益田市あけぼの町5番地12	澁谷 幹雄 串崎 利行 岡本 正友 柳楽 真智子 小川 稔宏	R2.6.1
付託委員会		審査経過（委員会）	審査経過（本会議）	結果 年月日
総務文教委員会				
<p>1 請願の趣旨</p> <p>萩・石見空港を南海トラフ大地震他、最近全国各地で頻繁に発生する各種の災害に対する内閣府中央防災会議幹事会が計画している防災救援備蓄基地を、萩・石見空港に誘致する為に請願致します。</p> <p>2 請願の内容</p> <p>我が国は、近年天変地異による大規模な未曾有の大災害が全国各地で頻繁に発生しております。</p> <p>この事に対して、国民の生命と財産を守る為に災害救援備蓄基地は我が国としても、最優先の課題として取り組んでおられることは周知の通りであります。</p> <p>当、萩・石見空港は、日本で唯一、活断層・原発のない、そして気象条件に恵まれた、極めて安全な空港であります。また、萩・石見空港は日本全土の中央に位置し、災害時の救援活動には極めて安全で最適な空港であることはご案内の通りであります。国におかれましては、南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画が、平成27年3月28日、内閣府の中央防災幹事会議において、南海トラフ地震防災対策推進基本計画が発表されております。</p> <p>以上の南海トラフ大地震における国の防災救援活動計画の中で、萩・石見空港を日本の防災救援拠点備蓄基地として是非活用して頂けるように、関係省庁に要望して頂きますようお願い申し上げます。</p> <p>尚、本件は益田市議会では全会一致で可決承認頂き、近隣の津和野町・吉賀町議会でも可決承認を頂いております。</p>				

3 補足

萩・石見空港を防災備着基地の立地条件は、下記に記載の通りであります。

- ① 隣接する日本海には活断層が存在しない事が学術的に判明しています。地震の発生は万寿三年(1026)年以後は、発生しておりません。
- ② 標高が 54 メートルで津波の影響は、皆無であります。
- ③ 原発は、予定地より百五十 km 以内に存在しておりませんので唯一安全な空港であります。
- ④ 水源は日本一の高津川の清流(6.683m³/秒)であります。平成 26 年度の国土交通省益田維持事務所の調査による。
- ⑤ 積雪による航空機の離発着に対する影響は年間を通じて殆どありません。
- ⑥ 日本でも有数の日照時間が長い気象条件に恵まれた空港であります。
- ⑦ 日本海に面して隣国よりの拉致問題に対する抑止力等に対応が可能です。
- ⑧ 防災救援訓練は日本海で行われ騒音の影響はありません。
- ⑨ 定期便航空機の発着回数は 1 日 3 回程度で、防災救援拠点・備蓄基地の活動に影響は全くありません。
- ⑩ 山陰自動車道より萩・石見空港は、1km 以内の距離にあり交通アクセスは良好であります。
- ⑪ 工業団地(ファクトリーパーク)より 6km にあります。
(上記付近に山陰道の益田 IC が出来る予定)
- ⑫ 空港に隣接して広大な国営開拓地や平野が存在します。
- ⑬ 日本海側に位置する防災に極めて最適な空港であります。

以上

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹 介 議 員	受 理 年 月 日
14	浜田市に在住する学生 の家賃負担軽減を求め る請願について	宇都木 恒太 浜田市高田町 28 番地 21 202 号	小川 稔宏 野藤 薫	R2. 6. 3
付託委員会		審査経過（委員会）	審査経過（本会議）	結 果 年 月 日
総務文教委員会				
<p>1 請願の趣旨</p> <p>新型コロナウイルス感染防止に係る飲食店等を中心とする休業や営業時間の短縮によりアルバイト収入が激減し、生活が急激に困窮する学生が増えています。</p> <p>現在、浜田市社会福祉協議会の「緊急小口資金」や、島根県立大学が新たに開設した「緊急生活支援貸与制度」等、生活に困窮する学生を支援する制度は拡充されつつありますが、いずれも貸与型の支援制度であり、すでに授業料の減免や貸与型の奨学金を受けている学生が多数を占める現状において、新たにこれらの支援制度を利用する学生は限られるものと推測されます。</p> <p>以上の状況により、アルバイト収入が激減し生活が困窮する学生を対象に、当面の措置として、新たな給付型支援制度の創設や県立大学の「緊急生活支援貸与制度」への財政支援などについて、浜田市が実効ある施策について検討・実施されるよう、浜田市議会の力添えをお願いします。</p> <p>また固定費である家賃は、つねに学生生活に重くのしかかっています。浜田市内に在住する学生に向けた安価な住居確保のため、以下のような恒常的支援も求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学生が入居可能な安価な市営住宅の確保。 2 安価な寮（準学生寮）の借り上げや、リフォームの実施。 3 市内在住学生に対する少額の給付型奨学金制度の創設。 <p>※総務文教委員会審査部分は、上記の2、3の項目</p>				

2 請願の内容

5月20日から島根県立大学浜田キャンパスの学生を対象に住居に関するアンケートを行った結果、5月31日現在、202件の回答がありました。アンケートでは学生の約8割が「浜田市の家賃は高い」と感じており、「家賃を下げてほしい」、「学生向けの安い住宅を整備してほしい」と回答した学生も約6割から7割いることがわかりました。

全国大学生生活協同組合連合会が毎年行っている「学生の消費生活に関する実態調査」では、自宅外学生の収入に対するアルバイトの割合は年々増加しています（ただし調査には島根県立大学は生協が無いのため不参加）。特に既に授業料免除や奨学金を最大限利用している学生にとって、新たな救済策として受けられる制度は限られており、学生を続けられないという声もあります。山形県では、県、市、県住宅供給公社が連携して民間アパートを「準学生寮」として市内の学生（山形大学、東北芸術工科大学）に通信環境も整え貸し出しています。

学生への支援は将来にわたって活力あふれる街を創生するためには必要な投資であると考えます。極力、民業圧迫を避けつつも、学生が安心して学生生活に励むことができるよう、また定住促進につながるよう請願します。

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
15	浜田市に在住する学生 の家賃負担軽減を求め る請願について	宇都木 恒太 浜田市高田町 28 番地 21 202 号	小川 稔宏 野藤 薫	R2. 6. 3
付託委員会		審査経過（委員会）	審査経過（本会議）	結果 年月日
産業建設委員会				
<p>1 請願の趣旨</p> <p>新型コロナウイルス感染防止に係る飲食店等を中心とする休業や営業時間の短縮によりアルバイト収入が激減し、生活が急激に困窮する学生が増えています。</p> <p>現在、浜田市社会福祉協議会の「緊急小口資金」や、島根県立大学が新たに開設した「緊急生活支援貸与制度」等、生活に困窮する学生を支援する制度は拡充されつつありますが、いずれも貸与型の支援制度であり、すでに授業料の減免や貸与型の奨学金を受けている学生が多数を占める現状において、新たにこれらの支援制度を利用する学生は限られるものと推測されます。</p> <p>以上の状況により、アルバイト収入が激減し生活が困窮する学生を対象に、当面の措置として、新たな給付型支援制度の創設や県立大学の「緊急生活支援貸与制度」への財政支援などについて、浜田市が実効ある施策について検討・実施されるよう、浜田市議会の力添えをお願いします。</p> <p>また固定費である家賃は、つねに学生生活に重くのしかかっています。浜田市内に在住する学生に向けた安価な住居確保のため、以下のような恒常的支援も求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学生が入居可能な安価な市営住宅の確保。 2 安価な寮（準学生寮）の借り上げや、リフォームの実施。 3 市内在住学生に対する少額の給付型奨学金制度の創設。 <p>※産業建設委員会審査部分は、上記の1の項目</p>				

2 請願の内容

5月20日から島根県立大学浜田キャンパスの学生を対象に住居に関するアンケートを行った結果、5月31日現在、202件の回答がありました。アンケートでは学生の約8割が「浜田市の家賃は高い」と感じており、「家賃を下げてほしい」、「学生向けの安い住宅を整備してほしい」と回答した学生も約6割から7割いることがわかりました。

全国大学生生活協同組合連合会が毎年行っている「学生の消費生活に関する実態調査」では、自宅外学生の収入に対するアルバイトの割合は年々増加しています（ただし調査には島根県立大学は生協が無いため不参加）。特に既に授業料免除や奨学金を最大限利用している学生にとって、新たな救済策として受けられる制度は限られており、学生を続けられないという声もあります。山形県では、県、市、県住宅供給公社が連携して民間アパートを「準学生寮」として市内の学生（山形大学、東北芸術工科大学）に通信環境も整え貸し出しています。

学生への支援は将来にわたって活力あふれる街を創生するためには必要な投資であると考えます。極力、民業圧迫を避けつつも、学生が安心して学生生活に励むことができるよう、また定住促進につながるよう請願します。

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
16	水産加工業の振興に関する請願について	浜田中央水産加工業協同組合 代表理事組合長 和田 浩 浜田市長浜町 1368-2	牛尾 昭 西田 清久 岡本 正友 道下 文男 野藤 薫 小川 稔宏	R2. 6. 10
付託委員会		審査経過（委員会）	審査経過（本会議）	結果 年月日
産業建設委員会				
<p>1 請願の趣旨</p> <p>百年産業としての水産加工業の灯を消さないために、水産加工事業者に緊急支援をお願い致します。</p> <p>2 請願の内容</p> <p>水産加工業の歴史は、遠く弥生式文化時代にさかのぼると言われています。安土・桃山時代は、漁業が一つの専門職として登場しました。また同時に、戦陣に備えて、干物が登場しました。その後、浜田市においては、明治・大正・昭和と漁船漁業の最盛期を迎え、併せて、水産加工業も同時に発展して参りました。</p> <p>特に、カレイの一夜干しは、全国一の生産量を誇り、百年以上の歴史を誇ります。また、どんちっち三魚などの加工品もふるさと納税に大きく貢献したと自負しております。</p> <p>さて、今回のコロナウイルスにより業界団体は、大きな影響を受けており、観光地などの大幅受注減、スーパーの買ったたきなど百年に一度の大きなコロナ禍の波に呑み込まれています。浜田漁港開港以来、我々水産加工事業者は、漁業者と一体となって基幹産業を支えて参りました。今回は、予期せぬ災難に遭遇し苦しんでおります。どうか、魚価安定と従事者数千人の雇用維持、併せて、コロナ対策のために、水産加工事業者に緊急的な支援をお願い申し上げます。</p>				